



七松小学校 学校だより

平成30年度

1月号

尼崎市立七松小学校

学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



2019年 勇気と努力で夢をかなえよう

新年明けましておめでとうございます。皆様おそろいで、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も皆さまにとりましてよい年となりますよう、また、子どもたちにとって安全で穏やかな年になりますよう願っております。本年もこれまでと変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年の十二支は「亥（い）」で、イノシシ年です。干支の漢字には、十二支を通して、季節の循環や植物の生長の意味がこめられているそうです。その中で亥年は十二支の中で12番目に位置しており、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しているとされます。後に覚えやすくするために、動物の「猪」が割り当てられ、日本では「イノシシ」を意味します。亥年生まれの方は、自分で思ったり決めたりしたことに対し、考えを曲げずに貫く人が多いと言われますが、性格は、とてもお人好しで、たとえ喧嘩になったとしても一切遺恨を残さず、からっと切り替え、人間関係を大切にするといられています。イノシシにあやかって、この一年、目標に向かってまっすぐ進み、まわりの友だちを大切に、勇気と努力で夢をかなえていきたいですね。

さて、3学期は学年のまとめの学期です。一日一日を大切に、特に6年生は小学校生活最後、最高学年としてしっかりと下級生の手本となり、良い所をたくさん残して行ってほしいと思います。そして1～5年生は、6年生の良い所を受け継ぎ進級してほしいと思います。風邪やインフルエンザの流行はこれから本格的になります。うがい手洗いを習慣づけ、しっかりと栄養と睡眠をとり元気に過ごしましょう。

読み書きの困難さにとられない生き方を ディスレクシア(DX)

日本全国、アジアで、ディスレクシアの啓発、支援活動を行っている、認定NPO法人エッジ会長の藤堂栄子さんの記事を読む機会がありました。ディスレクシアとは、読み書きの能力に著しい困難を持つ症状。文字がゆがんで見える、一部の文字が動いて見えるなど、人により症状は様々な例があり、これらの障害を抱えた人々をサポートするために、文字そのものを音声化して理解させる等、様々な工夫が行われています。藤堂栄子さんは、息子さんがDXと判明した時にご自身もそうだと分かったそうです。「子どもを育てる上で大切なこと、それは子どもが自信を失わないようにすること。読み書きは私たちの能力のほんの一部、それにとられないこと」「わが子を信じてまずできることの方に目を向ける。音楽的センスがあるとか、絵が上手とか、得意なことを伸ばしてあげるとイキイキする。できないことは好きなことと結び付けたりしながら、どうやったらそれが楽になるかを考えてあげればよい」藤堂さんご自身は、読み書きの能力は小学校2年生程度といわれていますが60歳を過ぎてから大学院に行き、修士を取られご活躍されています。「天才ちゃん」と呼び育てた息子さんは、今年からタイのチュラロンコン大学建築学部の教員になるそうです。個性を發揮し、社会で活躍する秘訣を学ばせていただきました。